



探訪 長門のい（おみ） ⑤③

長門豊川稲荷

奉賛献茶祭記念碑



この碑は太寧寺境内、長門豊川稲荷の社殿前に建立されている。除幕式は平成8年4月29日、献茶祭の日に行われた。

碑の正面の漢詩(表千家堀内宗完宗匠作)は、同稲荷社創建三十周年記念祭で詠まれたもの。その背面には、毎年春に催される献茶祭の由来(太寧寺現住岩田啓靖師撰文)が刻まれている。

碑文

〈正面上〉

奉 献 茶

長生庵宗完 花押

〈正面下〉

(書き下し文)

鎮座明神三十年 明神鎮座して三十年

太寧山下恵湯泉 太寧の山下湯泉に恵まる

天晴今日万人集 天晴れて今日万人集う

奉楽献茶佳気円 奉楽を奏し茶を献じて佳気円なり

〈背面〉

平成六年四月廿九日  
太寧寺稲荷社御鎮座  
三十年記念献茶ノ砌  
兼中斎宗完 花押

記(句読点は筆者)

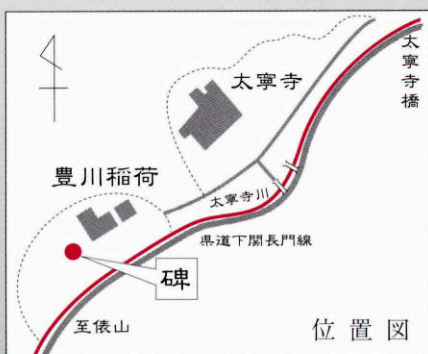
昭和四十年、長門豊川稲荷禪宮開創ノ砌、太寧寺五十世井原徹学奉賛献茶祭ヲ発願シ、世話人二十四代坂倉新兵衛、十二代田原陶兵衛ヲ指名ス。以来新緑五月ノ好日、地域の茶道人相集イテ奉仕ヲ重ネ、連綿今日ニ到ル。

平成乙亥 吉春

太寧五十三世徹翁啓靖

「長門豊川稲荷」は、日本三大稲荷の一つである愛知県豊川市の「豊川稲荷」を勧請したもの。太寧寺は明治新政の激動のなか、豊川稲荷の本山「妙嚴寺」と深いかわりを持つことになった。時を経て昭和三十九年、同稲荷の分霊を太寧寺境内に迎えた。

(正)



(寄稿) 長門市郷土文化研究会

こちら 119

謹賀新年 申

本年も地域の安心・安全のため職員一同団結し、より一層努力する決意です。ご理解ご協力をお願い致します。



出火原因 1位は、たき火の不始末

平成 15年中に長門地区管内で発生した火災のうち、最も多かった出火原因は、たき火や枯れ草焼き等の不始末でした。たき火等をする時は十分注意するとともに後始末を確実に、今年こそ、たき火による火災ゼロを目指しましょう。

長門地区消防本部・中央消防署 22-0119  
火災時の問い合わせ 22-1414  
ホームページアドレス  
<http://member.hot-cha.tv/~htb20504/>